

おむすび

ができるまで



私が選んだテーマは「結ぶ」。

babyたちとどう結ばれるか？と考えて浮かんだのはお母さんが炊き立てのご飯で「おむすび」を握る姿。

おむすびの中身は「あそび」です。

「あそび」は日常から生まれる想像と創造の営み。

もっとも身近なアートといえます。

日々何かを発見をし、行動するbabyは偉大なアーティスト。

そんなbabyのあそびとママとまんま（ご飯）を

アートで結んだ「おむすび」。

だから、今回の題名は「おにぎり」ではなく「おむすび」なのです。

◆ 作・出演 下川瑠美 ◆



【小作品集「ベイビー-ミニシアター-」】

2017年、ジャッキー・e・チャン氏（韓国）を演出家として迎え、日本の赤ちゃんのために発達段階に配慮した芸術性の高い作品を作ろうと、アーティスト達と協働。

アーティストが体一つで表現でき、より赤ちゃんの身近に届けられることを目指して15の小作品からなる「ベイビー-ミニシアター」を創作しました。「おむすび」はその中の1作品です。

◆ 演出 ◆

ジャッキー・E・チャン

神経心理学者、演出家、俳優

特別児童専門ドラマセラピスト、

ウンソン医療財団神経科学芸術院長

